

第53回塾内団体戦における注意事項

《禁止事項》以下の禁止事項を行った場合は、ペナルティを課す。

1. コート外でのボールの使用
2. 身代わり出場
3. シャワールームの使用
4. 空きコートの使用
5. ラケットの投擲
6. コンセント及びその他の備品の使用

7. 服装規定の違反 これらの禁止事項を行った場合は、今年度の団体戦のペナルティとし、ペナルティ数に応じ罰金等を課します。なお、この罰金は冬季レセプションの賞品として使用させていただきます。

〈注意事項〉

1. 試合方法 男子は、単4・複3の計7ポイント、女子は単3・複2の計5ポイント、各試合6ゲームオール12ポイントタイブレークの3セットマッチとする。
2. 試合球 ダンロップFORTを連盟側が用意。
3. 審判 対戦クラブ間で手配すること。試合終了後、主審の方は本部まで必ず報告にくること。
4. 集合時間 選手は試合開始の20分前までに全員集合すること。
8:45 オーダー表提出
8:55 出席、DEFコール、訓示
5. メンバー 集合時間に、各クラブの代表者はオーダー表と指定の写真付き公的身分証明（有効期限内のものに限る）を提出すること。オーダー表は、運営委員に提出するものと、対戦サークルに提出するものの、2通を封筒に入れて用意すること。表記者以外の出場、及び遅刻等による出場延期は認めない。表記された選手が集合時間に不在の場合、そのポイントはDEFとする。
6. トラブル ポイントに関する抗議権は当該対戦選手のみが有する。その他、試合中のトラブルについては、対戦クラブ代表者と運営責任者（連盟役員）による協議でのみ解決するものとする。
7. 服装 応援の者も、コート内にはテニスシューズ、テニスウェア以外では入らないこと。その他、細則については、ドローブックの服装規定に基づく。
8. コート 使用するコートは、運営責任者の指示に従い、各クラブが責任をもって準備、整備を行うこと。ライン出しの際には必ず会場に設置してあるブラシを使用すること。

〈マナーについて〉

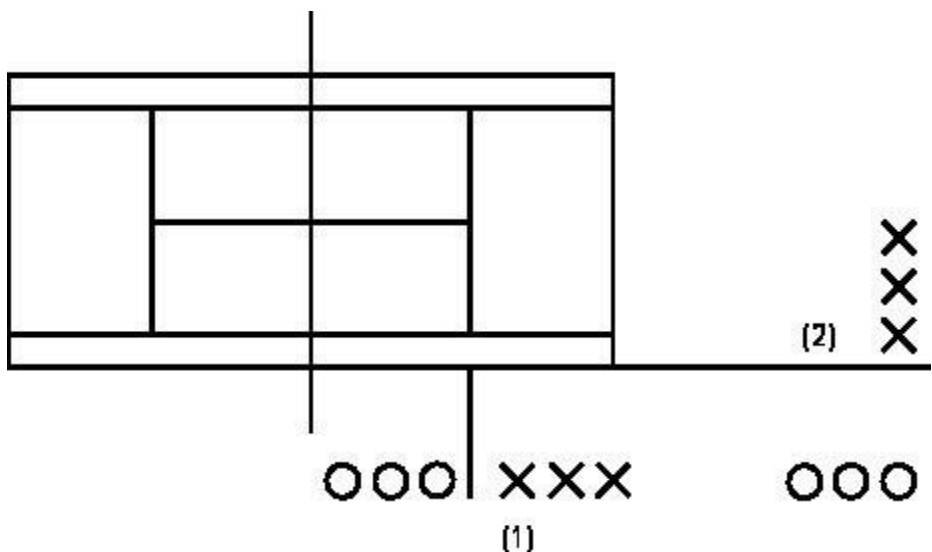
常に塾生としての立場を忘れず、良識ある態度で行動すること。

1. ゴミは運営委員の設置するゴミ袋に分別して捨てること。但し、相当数の来場が予想されるため、できるだけ各サークルでもゴミの管理を行うこと。
2. 所定の場所以外での飲食喫煙は絶対にしないこと。
3. クラブハウスを使用する場合はクラブの方や一般の利用者に迷惑をかけないこと。
4. 着替えは必ず更衣室で行うこと。

〈応援に関して〉

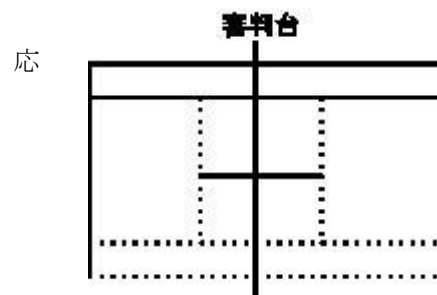
1. ポイントごとにライン内に入らないこと。
2. 応援のものは自陣のコートに立つこと。
3. 応援は拍手のみとし、声を出しての応援は禁止とする。オーダー発表のみ声を出すことを認めるが、近隣住民の方に配慮したものにすること。
4. プレーの妨害になるようなことをしないこと。

5. 相手の中傷するような応援は絶対にしないこと。
6. その他、明らかにスポーツマンシップに反する行為はしないこと。
7. 以上の規則が守られなかった場合、応援者のコートへの立ち入りを禁止する場合がある。 **警告が溜まったら、(3回程), 1時間程応援をコートから追い出し。**



援のものは、

- (1) サービスラインよりもネットよりで応援すること。
- (2) サイドラインよりも外側で応援すること。



審判台 <ルールについて>

- 審判について右の図で、実線部分は主審が判定し、点線部分は副審が判定する。副審が担当しているラインを主審が判定することはできない。また逆に、主審が判定しているラインを副審が判定することはできない。
つまり、オーバーコールはなしとする。
副審も必ず発声すること。
- メディカルタイムアウトは、5分間を2回までとする。5分経過する前に始められる状態になった場合は始めても良い。
- トイレットブレイクは連盟の付き添いがある場合のみ、5分間以内に戻って再開すれば1回まで可。しかし、戻り次第ははじめなければメディカルタイムアウト1回分とカウントする。
- チェンジコート休憩に関しては、次の通りにする。チェンジコート休憩・セットブレイク休憩 1分半、ポイント間・チェンジコートしないゲーム間 25秒とする。ただし、各セット1ゲーム終了後のチェンジコート休憩はなしとするが、水分補給のみ認める。
- 審判の判定を疑問に思ったボールの後のラリーを続けた場合、そのボールに対する抗議権はなくなるものとする。
- アップ時のサーブは片サイド2球ずつとする。
- 応援者にボールが当たった場合、当たった応援者側の失点とする。

その他ルール、マナーに関しては、JTA ルールブック 2018 に準ずる。

また、試合当日の判断に関しては、当日の運営責任者の判断に委ねるものとします。